

# 卓 話

平成 28 年 8 月 23 日

## 『 ローターリーにおける青少年奉仕 』

青少年奉仕委員会委員長 故金正司

- 1.ロータリーの5大奉仕のひとつとして、新世代奉仕が2010年に規定審議会において、青少年奉仕の名称で新設された。
- 2.青少年奉仕の基本的なニーズは、健康、人間の価値、教育、自己開発である。
- 3.主な青少年奉仕プログラムとして
  - (1) インターアクト・・・13～18歳までの青少年のための国際ロータリーの奉仕クラブです。(地区補助金 500 万円) 活動として、地元社会や海外のクラブと交流を行う、世界で 14,000 クラブが活躍中である。
  - (2) ローターリーアクト  
18歳～30歳までの青少年男女のための奉仕クラブです。地区社会または大学を基盤として、地元のロータリークラブがスポンサーとなっている。(地区補助金 230 万円) ローターリー家族の一員であり、世界で 9,000 以上のクラブが活躍中である。
  - (3) 青少年交換  
ロータリー青少年交換に参加学生は、最高で 1 年間、母国以外の国でホストファミリーと生活を共にして学校へ通う。(地区補助金 417 万円) 参加者は、新しい生活様式、言語、自国の文化、自分の考えを出会った人々に伝える親善大使として世界をひとつにする役割を担います。世界で年間 8,000 人以上の若者が貴重な体験をしている。
- 4.青少年育成小委員会 (地区補助金 23 万円)
- 5.青少年奉仕月間は、毎月 9 月である
- 7.出前授業について



- (1) 地区青少年育成小委員会の役割  
今年度活動方針として出前授業 (おじさん先生) の普及を推進している
- (2) 2002 年より、文部科学省が中学 2 年生の学校教育において「職業観、勤労観」を育成する方針を決定した。
- (3) 地区青少年育成委員会、私の履歴  
2006～2007 年度 地区委員 拝命  
2007～2008 年度 地区委員長 拝命  
地区委員会にて出前授業の推進を啓蒙。高山、東濃、岐阜、大垣、鈴鹿、松阪、熊野などで啓蒙活動の成果を収める。
- (4) 岐阜市内において  
長森、藍川北中学校、岐阜三田高校、華陽、且閑小学校など  
出前授業 講師履歴・・・渡辺、安田、玉田、大橋、中山、宮地、安藤、野尻、故金各会員
- (5) 岐阜中ロータリークラブの委員会活動方針
  - ①青少年育成を目的として、出前授業の啓蒙活動を行う。
  - ②岐阜市内中学校、岐阜県内高校を対象として、教育委員会へ出前授業においてロータリーの公共イメージを高める
- (6) ポリオ小委員会レポート  
今月 24 日、岐阜都ホテルにて、今年度第 1 回のロータリー財団研修セミナーが開催された。特別講演では NGO である日本国際ボランティアセンターのイラク事業担当の池田未樹さんより、民族紛争の事情を聞くことができた。財団の使命は、ロータリーの目的である超我の奉仕であり、皆さんの基金を健康、教育、貧困の救済をすることにより、世界平和の達成を支援しています。ロータリーカードへの加入を含め個人的な基金のご協力をお願いいたします。